

平成 23 年度第 7 回理事会次第

日 時 平成 23 年 12 月 17 日 (土) 10 : 00

会 場 千葉県社会福祉センター4 階会議室

1. 出席者及び資料の確認

2. 開会

3・会長挨拶

4. 議 題 (1) 各委員会報告事項に対する質疑(事前送付資料によりご確認ください)
- (2) 議事 1. 社団法人千葉県社会福祉士会組織規程について
2. 平成 24 年度事業計画及び予算案について
3. その他
- (3) その他
- 各委員会、部会間の協力、運営強化についての協議

5. 閉会

＜三団体連絡協議会＞

日時：平成 23 年 12 月 11 日 13：00～15：00

場所：千葉県社会福祉センター4 階社士会事務局

出席者：PSW 協会：山崎会長、渡辺副会長、

MSW 協会：飯塚会長、吉成理事

社会福祉士会：山崎相談役、三橋全相談役、神山会長、目黒副会長、岡本事務局長、櫻井(絢)

議題：・県の認知症対応について

- ・三団体会費について
- ・三団体研修報告
- ・秋の三団体合同研修について
- ・来年度について (SW デイ他)

認知症対応について

専門職の職能団体 4 団体に対し、専門職向け研修プログラムの作成依頼あり。H24・25 年二ヶ年事業で SW として MSW/PSW も共有できるプログラムを作成し、その後は自主事業で継続できるプログラムを求めている。

→PT を作り各団体からも参加してもらおうべきではないか。

→補助金打ち切り前提ではなく、継続を県に訴えることも検討してはどうか。

三団体研修報告について

参加申し込み 74 名、当日参加 61 名。

収入(懇親会費込) 38,500 円、支出 36,402 円。懇親会費を含めないと赤字になる。

→懇親会費の余剰金を全体収支に充てることで同意。

当日キャンセル(未払い)対策をどうするかが例年の課題。

→当日連絡先電話を設けることで連絡のないキャンセルは減った。

三団体会費について

使途の確認。7 月議事録から研修会場費・講師謝金として設定。

来年度のソーシャルワーカーデーの企画について

- ・H24/07/21 (土)、千葉市民会館小ホールを社士会で予約。
- ・一般向けに何かアピールする場にするのか、研修機会の一つにするのか、ターゲットは？
- ・参加資格は設けないが、専門職をメインターゲットにタイトルでそれが分かるようにしておけば。
 - 一般の人に、どのような仕事をしているかをイメージしてもらえるのか。
- ・前半に「無縁に立ち向かう SW」として公開実践報告。後半に専門職向け実践講座。
 - 前半は 90 分程度で。
- ・公的扶助研究会とも協力してはどうか。
- ・NHK に講演依頼ではなく、情報提供して取材を呼びかける。
- ・話せる人を各団体から一名ずつ推薦。

次回

H24.3.4 (日) 13:30 予定 (次回までに SW デイの演者候補を各会で複数名リストアップ)

<企画部会>

日時：平成 23 年 12 月 11 日(日) 15:00～17:00

場所：千葉県社会福祉センター 社会福祉士会事務局

出席者：岡本（崇）、岡本（武）、小倉、櫻井、四ノ宮、高橋、目黒

1. 地域集会

各エリア担当者から各世話人と個別にやりとりし、地区の状況の把握をする。

松戸、成田の 2 か所で企画部会主催の地域集会を開催する。（テーマは次年度からの生涯研修制度）

不活発地区は隣接地区の活動に越境して参加案内をする等、世話人と調整する。

2. 三団体研修・協議会報告

上記協議会報告のとおり

3. 新規事業活動

ネットワーク作りの WT について、SNS 活用を検討することとなったため、企画部会内に WT を移行する。

平成 23 年度第 7 回理事会 報告資料 1・2 (page : 1)
会議・研修会記録票

日時	平成 23 年 12 月 13 日 19 時 30 分～21 時 30 分		
場所	沼南地域包括支援センター ラウンジ		
出席者(人数)	7 名		
スタッフ	鈴木・山口利・滝澤・岡田・草間・森・松本 (順不同)		

- 第 78 号のページ割り振り見直し 校正担当割り振り
 - 表紙・リード文 イラスト【松本】
 - 特集 「更生保護(仮タイトル)」
 - 地域生活定着支援センター 【瀧澤】
 - 保護司 【山口利】
 - 更生保護施設 【草間】
 - 施設見学者 犬伏さん【鈴木】
 - (3/2) トピックス 社会福祉士の“原点”を改めて振り返る
山崎前会長【鈴木】
 - (1/2) 地域集会(安房地区) 川名さん 【鈴木】
 - (1) コラム『震災から学ぶ』 習志野市社協矢島さん【森】
 - (2/3) ぽっぷ工場(400字) 作業所よつば会 真船さん【山口利】
 - (1) 災害対策委員会の設置、災害対応マニュアル【鈴木】
 - (2/3) 社会福祉士の輪 塚野さん打診済 【山口利】
 - (2/3) 三団体リレーコラム MSW 協会 【鈴木】
 - (1) 事務局便り 【森】
- 発行までのタイムスケジュール
(予定)
 - 12/5(月)～12/15(木) 編集会議
 - 1/31(火) 原稿〆切
 - 2/1(水)～2/7(火) レイアウト落とし込み
 - 2/8(水)～2/14(火) 1 次校正
 - 2/15(水)～2/21(火) 2 次校正
 - 2/22(水)～2/28(火) 最終レイアウト
 - 2/29(水)～3/3(土) 部会長最終チェック→入稿
- 次号予定
 - ・ 新理事、組織紹介
 - ・ 社会福祉士の原点を振り返る

災害対策委員会

- 前回の理事会でご承認いただいた通り、理事会の下ではなく、会長の掌握機関として組織における位置づけとしたい。ただし、災害時等における緊急的な決定以外の活動については、理事会に報告し必要な場合は承認を諮ることとしたい。
- 名称は「災害対策委員会」としたい。
- 災害時対応ワーキングチームのメンバーを中心に、委員会活動への参加希望者を募集するチラシを作製、11月発行の『点と線』に同封。現在、新たに参加希望をされる会員との連絡を取っている。
- 「災害時対応ガイドライン」に第10条として、下記の通り改廃規定を設定。第10条を加えた上で、ガイドラインの施行日を前回(第6回)理事会の日程としたい。
「第7章 改廃について
第10条 条項の改廃
① このガイドラインの内容を改廃するときは、理事会の承認を得なければならない。」
- 平成24年3月発行予定の『点と線』に、「災害時対応ガイドライン」を同封することとしたい(正会員のみ)。

<いわき市支援活動報告>

平成23年12月11日(日)

いわき市小名浜の雇用促進住宅「磐城宿舎」にて、たこ焼きの炊き出しとアカペラクリスマスコンサートを開催し、サロン活動のお手伝いをするとともに、いわき市の現状の確認を行った。

【ボランティアセンターについて】

いわき市の災害ボランティアセンターは、現在「救援ボランティアセンター」から「復興ボランティアセンター」へと変更し、災害ボランティアの受け入れについては原則として、金、土、日曜日の週三日間のみとなっており、募集も災害ボランティア経験者のみ、としている。ニーズの内訳は、ガレキの分別の他、写真の洗浄や側溝の掃除などが中心となっている。

1月には避難区域であった広野町にもボランティアセンターが立ち上がる、とのこと。

【街の様子について】

市街地のガレキはほとんど片付けられ、建物も新しくなり、街の外観の復興は7～8割達成しているように思われる。一部被災した建物も残っているが、街の機能はほぼ復旧していると思われる。

【被災者の状況について】

磐城宿舎では、130世帯ほどが入っているが、サロン活動に参加した方は30名ほどで、ボランティアセンタースタッフの呼びかけにも「知らない人と話してもねえ」と言って部屋に入ってしまう方もいた。歌いながら敷地内を周回し、反応した方を誘って参加していただけたケースもあったが、今後も継続して「人とのつながり」づくりへの支援は必要だと思われる。

＜今後の活動＞平成24年1月を目処に委員会開催予定

地域包括支援センター部会報告事項

報告事項

千葉県委託障害者虐待防止対策研修会について

- ・千葉県より研修委託について打診があり、11 月 14 日に岡本事務局長と小倉が担当者と打ち合わせを実施。
- ・来年度受託したいとの意向は県の担当者に伝えた。研修の対象や回数、受託の内容については厚生労働省主催の研修を受講後に再度検討する予定となっている。

千葉県委託高齢者虐待防止対策研修会について

下記の 3 日の日程で、研修を実施予定。午前中は弁護士会の講師による経済的虐待の講義、午後はグループワークを実施する。

- ・平成 24 年 2 月 7 日（火） 君津健康福祉センター大会議室（木更津市新田 3-4-34）
- ・平成 24 年 2 月 10 日（金） 印旛健康福祉センター大会議室（佐倉市鎗木仲田町 8-1）
- ・平成 24 年 2 月 28 日（火） 松戸健康福祉センター大会議室（松戸市小根本 7）

高齢者虐待対応専門職チームについて

- ・今年度 9 月～11 月の間に 4 件の派遣要請があった。報告会を 1 月 13 日千葉県庁にて実施予定。
- ・千葉県高齢者福祉課から昨年チームに派遣要請を行った自治体に、来年度も利用する場合自治体で派遣費用を負担できるか問い合わせが入っている。県の担当者に確認したところ、現在来年度予算の折衝中であるが、予算がつかない可能性があることを示唆された。

相談事業部会報告事項

- ・ 11 月 26 日に部会が開催された。議事録を下記に添付します。

平成 23 年度 第 1 回 相談事業部会議事録

場所：千葉県社会福祉士会 事務局

時間：平成 23 年 11 月 26 日（土） 10：00～12：00

参加者：小倉理事、山本さん、森澤さん、西沢

議題

1、無料相談事業 報告

- ・ 平成 23 年度 第 1、2 回就職フェアの報告

第 1 回 森澤さんから

7 月 16 日開催。学生からは自分で調べればすぐにわかりそうな安易な質問が多い

大学 3 年生の相談が多かった

社会福祉士と社会福祉主事の違いすらわからず、相談に来られた方もいた

高学歴の方も相談に来られた。

学生の進路としては総じて、まずは一般企業を目指し、結果が結び付かないと福祉の分野に来られる方が多い。初めから福祉を志す方が少ないと感じた。

第 2 回 小倉さん、西沢から

学生だけではなく、中年の方も多い。

被災地活動について興味をもたれた方もいた。

就職活動についての相談が多かった。

- ・ 習志野市福祉ふれあい祭り 報告

山本さんから

詳しくは別紙のとおり（＊先月の理事会にて配布済み）

午後からは途切れなく、対応に追われた。

成年後見の相談が多く、そのため 30 分程度で終わる内容ではなく、結果、対応に追われたころもあった。

成年後見の間違った解釈が多い。特に両親の財産を整理したいから成年後見を活用したいという相談等。

社会福祉士会ののぼり、用意した P O P、ホワイトボードの活用なども来場者の目を引いたと思われた。

- ・ 福祉の就職ガイダンス 報告

山本さんから

詳しくは別紙のとおり（＊先月の理事会にて配布済み）

客層などは 40 人程度、年配の女性が多かった。

国家試験対策の説明に食いつく参加者も多く、その後の個別相談もそれに準じた内容の相談が多かった。また順番待ちを待てず、帰られた人もいた。

参加者の質も高く、資格取得に前向きな人が多かった。

・その他

淑徳大学キャリアフェスタ？

いまだ依頼はない、要請があれば参加。しかし先方には当ブースが雇用する場でないことをあらかじめ、説明する。

2、悩める福祉士サポート事業について

今日に至るまでいまだ 1 件也没有。今後について検討しましょう

点と線 メール配信で改めて CM を行う

3、研修会 企画について

今年度は社会福祉センターが改修工事を行う為、24 年 1, 2, 3 月は会議室を利用することができません。そのため、会場確保に困難が伴います。

広報については点と線への同封はかなりぎりぎりですが、なんとか間に合うのでは？と思います。

さて、今年度はどうしましょう？やるかやらないか？

行うとしたら講師は？場所は？色々考えましょう。

会場の確保の困難、点と線へのチラシ同封が間に合わない事、黒字決裁の見込みが持てないことから今年度の開催は見送った。

4、旅費・手当支給と申請書の記入

久保田さん 習志野福祉祭り

小倉さん 第 2 回就職フェア 委員会

山本さん 習志野福祉祭り 委員会

辻村さん 第 1 回就職フェア

森澤さん 第 1 回就職フェア 委員会

西沢 第 2 回就職フェア 委員会

即日、処理を行った。

5、その他

通年、年明けの研修会後に委員会を開催していたが、今回研修会を行わないことから来年の委員会は開催しない。

ばあとなあ千葉平成23年度第5回運営委員会 議事録

1. 実施日時：平成23年11月16日（水）18:00～20:00
2. 場 所：社会福祉士センター4階会議室
3. 出席者：鈴木、櫻井、片野、朽名、石山、中山、出口、田中、辻村、福島
欠席者：吉田、篠田
4. 議事

1) 平成23年度第5回理事会（10/1）、第6回理事会（11/12）の報告 鈴木委員長

①支部長会議に本県より神山会長が出席する。

連合体移行により本支部は独立した一般社団法人となる。そのため定款変更が必要となり、来年3月の総会で会員の2/3以上の賛成が必要となるため、出席が出来ない場合は委任状提出の協力を願う。

②役員選挙の件

来年5月で現役員の任期が満了し、6月より新役員（任期2年）となる。

このため役員選挙を行うので選挙管理委員を追加募集し決定した。

③法人後見業務監査委員会開催の件 （11/4）

聖徳大学教授 須田 仁氏、リーガルサポート千葉支部長 長谷川秀夫氏、
本会正会員 原田 隆氏 の3名で構成

④千葉県社会福祉士会災害時対応ガイドライン（案）が理事会で承認された。

⑤見守り支援事業（千葉市 みまも一れ）が来年3月で委託期間が終了するが、千葉市美浜区地域包括センターとしての委託を受け、事業を継続する方針が承認された。

⑥負担金配分委員会準備会について

本年度は8/27、10/1日の2回開催された。

負担金については、昨年度の総会での決定事項である。

負担金は23年の収入に対し、24年に集金を開始し、配分を実施する。

負担金対象者 ・ 社会福祉士賠償保険加入者

・ ばあとなあ名簿登録者

・ 社会福祉士会の推薦による各種委員、講師等の報酬

・ その他寄付に賛同した者

負担金の配分の根拠として、会員へ還元の一環として考える。

・ 成年後見人受任者の無報酬者を対象とした費用弁償。

・ ホームレス見守り支援費用、その他無報酬で活動している人の報酬

2) 平成24年度予算案

執行部よりのヒヤリングの結果、23年度並みの予算額となった。

3) その他

成年後見人養成委託集合研修の募集定員を24年度は25人とする。（本年度募集定員20人）研修期間の変更がある可能性あり。

基礎研修については、来年度から3年間になる予定なので本研修の受講要件との関連性を11/26、27の2011年度合同ブロック別ばあとなあ連絡会議にて確認する。

5. 各担当より報告

1) 研修

①第2回登録員・準登録員研修は、11/12日に終了、その感想を受講者4～5名に記事をお願いし、

これらを基に1月の広報に記載する。

②成年後見人養成委託集合研修

10/29日で5日間の研修を終了。(修了者25名)

5日間のアンケート結果の概要を1月の広報に記載する。

③ばあとなあ千葉サポート (1月・2月は会場の都合により中止)

12/17日 13:30～15:30 会場 千葉県社会福祉センター

テーマ「申し立て支援の知識」 講師 鈴木委員長

2) 法人後見

①法人後見に関する規程、16条(被後見人に(業務の実施に関し)損害を与えた場合は本会が保障する)について検討した方が良いとの意見があるが、規則の見直しを法人後見チームとして検討する。

②法人後見依頼があり、依頼者宅を印西市役所担当者と同行訪問し、聞き取りを実施するも、協議の結果、受任できないとした。

3) 広報

ばあとなあ千葉ニュース29号1月発行 原稿締め切り1/15日 発行予定1/23日

①委託集合研修、②第2回登録員・準登録員研修(11/12) 原稿担当 石山委員

③ばあとなあ千葉サポート(10/15) 原稿担当 出口委員

④ブロック別ばあとなあ連絡会参加結果について 原稿担当 鈴木委員長

⑤2月の活動報告書の提出時のお願い 原稿担当 吉田副委員長

⑥高齢者虐待の実態 原稿担当 朽名委員

⑦市民後見人について 原稿担当 櫻井副委員長

4) 虐待防止

虐待について1月に県発表がある。

11/18日・14時から市原包括支援センターにおいて県高齢者虐待の困難事例についての検討会が実施される。

5) コーディネート

11月16日現在、今年度の推薦依頼件数は92件

6) 会計

9月末の上期支払いは、10月に支払い済み。下期は、3月締め切りで4月支払いとする。上期支払い請求を漏れている場合は報告してください。

7) 電話相談

電話相談の内容は後見だけでなく、幅広い内容になっている。

電話相談ファイルへの追加事項 ①関係機関一覧 ②相談窓口一覧表

3月の電話相談研修において、電話相談対応内規について連絡する。

8) 渉外・その他

松戸市の市民後見人(市民後見協力員)状況について報告

障害者虐待ワーキンググループについて(県版、市町村版でサポート体制を構築)

次回運営委員会 1月11日(水)午後6時から

独立型社会福祉士委員会 活動状況（平成 23 年 11 月 13 日～12 月 14 日）

1. 独立型社会福祉士活動・養成部会

11 月は会議はなし。

12 月 9 日は懇親会を兼ねて会議を開催した

参加者 川島、犬伏、櫻井、君和田、遠坂、豊下、吉原。

今後の活動やメーリングリストの活用方法について話し合った。

次回開催は未定だが、ホームレス支援活動と並行しながら進めていきたい。

独立型社会福祉士アンケート・研修会の検討へ

2. 社会復帰促進支援・社会貢献活動部会

ホームレス支援活動

11 月 21 日 千葉市 幕張地区

ホームレス支援活動・夜間調査（千葉市役所職員らと同行）

参加者 犬伏、川島、田中、吉原、西沢、田村、佐藤

11 月 25 日 千葉市 千葉駅周辺

ホームレス支援活動・見回り、声掛けなど（部会員のみ参加）

参加者 犬伏、川島、田中、吉原、君和田

なお、11 月 25 日、声をかけ話をした方が、後日、自身で生活保護を申請し、住居に移ることができたとのこと。次回、12 月 21 日、千葉駅周辺で、千葉市と合同で見回りを実施する予定となった。

【事務局報告】

○ 後援

- ・ 千葉県 平成 23 年度在宅がん緩和ケアフォーラム 平成 24 年 2 月 19 日
- ・ 千葉県作業療法士会 第 13 回千葉県作業療法士会学会 平成 24 年 3 月 18 日

○ 委員推薦

- ・ 八街市地域包括支援センター運営協議会委員および
八街市介護保険地域密着型サービス運営協議会委員 公募予定

○ 講師派遣

- ・ 千葉県立船橋豊富高等学校 介護員養成研修 2 級課程 平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 12 月 27 日
(仮登録) 染野貴寛、岡本崇広、浅見雅人、堀井恭子

○ その他

- ・ 千葉県 平成 23 年度第 1 回千葉県地域リハビリテーション協議会 12 月 21 日 石山明子
- ・ 千葉県社協 平成 23 年度 成年後見制度個別相談会 平成 24 年 1 月 29 日 10 名 鈴木勝英、
櫻井 勉、朽名高子、片野無事生、石山明子、泉 幸江、市川恵子、野口 猛、大藤康弘、中山敏子
- ・ 千葉県 災害時における障害のある人等への支援に関する課題について (照会)
災害 WT より意見提出あり
- ・ 千葉県共同募金会 平成 23 年度 NHK 歳末たすけあい運動協力をお願い 12 月 1 日～12 月 25 日
募金箱の設置
- ・ 千葉県介護支援専門員協議会 会誌「念頭所感」原稿依頼 会長

**** 会員情報 ****

11 月 30 日現在 正会員:1,243 名 (新入会:7 名、転入:0 名、転出:2 名、退会:0 名)

➤ 12 月本部会員情報より